

平成30年度

事業計画書

自：平成30年 4月 1日

至：平成31年 3月31日

平成30年度 事業計画

1 活動方針

超高齢社会や単身世帯の増加など地域住民の家庭環境が急速に変化している中で、いわゆる「2025年問題」に向けた対応として、平成28年に策定された地域医療構想を受けて、平成29年度は神奈川県保健医療計画が改定され、平成30年度においては計画が実行に移されることとなり、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するとともに、住まい、医療、介護などが一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築する取り組みが引き続き進められております。

一方では、消費税制度導入当初からの課題である、いわゆる「控除対象外消費税」については、政府が「2019年度税制改正に際し、税制上の抜本的な解決に向けて総合的に検討し、結論を得る」考えを表明しているものの、過去3回の改正時には見直されておらず、病院の経営状況は極めて厳しい状況が続いています。

こうした中であって、当病院協会は引き続き市行政や市医師会など、関係機関との密接な連携を図りながら、「地域住民が必要とする良好な医療の提供」に努め、その設立目的である「地域医療の充実を図り、もって地域住民の健康と福祉の増進」を具体化する事業活動を推進します。

○ 公益目的事業の展開について

- (1) 二次救急医療受託(内科、消化器、循環器、小児科、産婦人科)事業及び外科二次救急事業については、市からの委託及び補助金を受け、応需当番病院を確実に確保しつつ、一次及び三次との連携強化を図りながら急病者の適切な受入れに努めます。

内科系二次に関しては、複数開設日数の増加に伴い、急病患者が多発すると予測される夜間や年末年始の昼間に市域を南・北に二分して当番病院を編成するなど、急病患者のより迅速な受入れと同時に、当番病院スタッフの負担軽減に努めます。

また、相模原ルールについては、支障症例発生による中断が起きぬよう、転送受入の徹底を図ると共に、ルール宣言件数そのものが減少するよう努めます。

- (2) 災害対策事業については、相模原市の総合防災訓練や国民保護実働訓練などに積極的に協力・参加すると共に、救急告示病院に設置された衛星電話の通信訓練を行い、災害発生時の体制確保に努めます。
- (3) 看護職確保対策については、「看護職確保対策委員会」の具体的な活動に対して平成27年度から市の予算化が図られ、引き続き潜在看護師を対象とした相談会及び技術研修会を開催します。
- (4) 認知症対策受託事業に関しては、今後、認知症患者数の増加が見込まれており、認知症センター(北里大学東病院)からの要請に基づく患者受

入れが円滑に行われるよう努めます。

- (5) 北急病診療所(緑区役所に併設)の医師業務委託事業については、市医師会からの依頼を受け、運営に必要な医師業務の委託事業を会員病院の協力のもと引き続き実施します。

また、平成 28 年度から中央急病診療所の診療放射線技師業務委託事業について、上記と同様に市医師会からの依頼を受け、運営に必要な技師業務の委託事業を会員病院の協力を得て実施しておりますが、平成 29 年度から南診療所においても同様の委託事業が開始され、平成 30 年度も同様に委託事業を実施します。

- (6) 医療連携推進事業については、限られた医療資源を効果的・有機的に提供していく上で、各病院の連携室、相談室等の連携を一層深める事業等を実践する組織として「医療連携推進委員会」を平成 28 年度に設置し、「地域医療連携業務関係職員合同会議」を開催しましたが、平成 30 年度も引き続き委員会、合同会議を開催するなど活動を推進します。

○ 収益事業の取組みについて

- (1) 市が市医師会に委託している感染症予防対策の「個別予防接種及び高齢者インフルエンザ予防接種事業」については、市医師会の理解・協力のもと、会員病院が取扱う件数は当病院協会の収益事業に位置付けて引き続き実施します。

○ 共益的事業について

- (1) 会員相互の親睦、福利厚生事業である「新年賀詞交歓会」及び「ボーリング大会」を開催すると共に、新たな事業充実策を研究します。
- (2) 会員等を対象に研修会及び講演会を開催すると共に、市医師会等関係団体との交流事業や納涼会を実施します。

2 主な事業内容等について

(1) 法人の総務関係事業

- ① 定時総会を 5 月に開催し、公益社団法人としての平成 29 年度事業報告と収支決算、その他必要な議案審議・決議を行います。
- ② 病院協会ホームページに必要な情報を掲載します。
- また、行政庁の立ち入り調査を受けることを想定し、常に適正な法人運営に努めます。
- ③ 理事会は、原則として毎月開催し、この内、年 3 回は、拡大理事会(役員病院の事務長等も参加)とします。また、各部会・委員会については、各部の自主的活動を基本としつつ、B 会員への登録を促進し、各事業等へ積極的に参画するよう配慮します。

- ④ 会員の慶弔、懇親会等を通じた交流事業を実施します。
- ⑤ 市及び関係団体等との連携及び調整事務を進めます。

(2) 救急医療対策事業

- ① 市から受託している二次救急医療事業(内科系、消化器系、循環器系、小児科、産婦人科)並びに自主事業である外科二次事業の円滑な運営を図るため、相模原二次救急運営委員会等を開催します。
特に、内科二次の複数開設については、開設日の増加に合わせて適切な実施日を調整することとし、急病患者への迅速かつ医療サービスの向上と内科当直スタッフの負担軽減を図ります。
また、平成 30 年度からは循環器系二次において、新たに臨床工学技士 (ME 技師) 1 名を休日・連休・年末年始に確保します。
- ② 搬送患者受入れ支障事例の減少を目指し、特に、相模原ルール of 適用ケースの場合は、患者転送の完全受入れに努めます。
- ③ 市行政・救急隊及び市医師会等関係団体との救急医療に関する調整を進め、対応困難症例等に関する今後のあり方を研究します。
- ④ 急増する高齢者救急に対応する体制作りを研究・検討します。

(3) 災害対策事業

- ① 相模原市の総合防災訓練や国民保護実働訓練などに積極的に協力・参加します。
- ② 災害時救急医療に活用される [衛星電話] について、各設置病院の訓練等を行います
- ③ 災害拠点病院を支援する制度である県医療救護計画に基づく「災害協力病院」の指定に協力します。
- ④ 集団食中毒の発生など不測の事態における給食体制の相互支援システム等について調査・研究します。

(4) 地域医療対策事業

- ① 市医師会をはじめ関係機関等との交流・意見交換会等を深め、病・診連携を推進すると共に、共通課題の解消に努めます。
- ② 協会内に設置した「地域医療連携委員会」の活動を通じて、地域医療機関内で完結する入・退院医療連携の実現を目指します。
- ③ 認知症患者の円滑な入院受入れを推進するため、引き続き市が制度化している「認知症患者に関する医療機関連携システム事業」を受託し、その普及等を図ります。
- ④ 地域医療構想調整会議の主要な構成員として、平成 28 年度に策定された地域医療構想の実現へ向けて、具体的な取り組みを進めます。

(5) 看護職確保対策

① 公益財団法人相模原市健康福祉財団が運営する相模原看護専門学校の運営に対する財政支援を継続します。

また、同財団が平成 28 年度から新設した看護師奨学金貸与事業への拠出金支出を 3 ヶ年にわたり継続実施します。

- ② さがみはら看護フェスティバルに対する協力支援を行ないます。
- ③ 潜在看護師を対象とした「復職支援研修会」を実施（1 回）します。
- ④ 会員病院による「就職相談会」を開催（2 回）します。

(6) 学術研究事業

① 医療講演会・研修会(セミナー)を開催すると共に、医療に関する情報収集と提供、情報の共有を図ります。

② 県病院協会各種事業に協力すると共に、県病院学会への後援等を行ないます。

(7) 広報活動事業

① 協会ホームページを活用して情報の送・受信に努めます。

(8) 福利厚生・褒賞事業

① 病院医療従事者に関する優良職員表彰事業を実施します。

② 病院職員相互の交流や職員の健康増進及びその活性化を図るとともに、新たな福利厚生事業を検討します。

(9) 収益事業

① 個別予防接種及び高齢者インフルエンザ予防接種事業について、会員病院を通じて年間取扱件数 20,000 件を目標に取り組めます。

(10) 病院経営・運営に関する事業

① 病院経営改善対策に係る情報の共有化、研修会等を実施します。

② 医療制度改正や消費税改定等に関する情報収集、対応策等を研究します。

③ 診療報酬改定に関する情報収集・各病院の取組み状況を協議します。

④ 療養型病床に対する国等の動向把握に努め、情報提供します。

⑤ 病院経営・運営に必要な各種調査等を実施します。

平成 30 年度 事務長部会 事業計画

1. 全体会

- ①回 数 年 4 回 現行同様 6 月・9 月・12 月・3 月
- ②日 時 第 2 水曜日 15 時～17 時 (原則) 会議室等の関係で変更
- ③場 所 ウェルネス内会議室
- ④内 容
 - a) 希望に応じテーマを設定した研修会の実施
 - b) 従来の機能別の分科会は終了とし、個別対応とする。
 - c) 各病院状況報告 (必須・5 病院毎)
報告施設を年間予定に組み込み、2 年間で全施設の報告を実施する。
 - e) 県病院協会報告
 - d) 情報交換
- ⑤開催月と内容
 - 6 月 2018 年度診療報酬改定の影響
各病院状況報告 指定 5 施設
情報交換
 - 9 月 研修会 1 時間
各病院状況報告 指定 5 病院
情報交換
懇親会 (暑気払い)
 - 12 月 研修会 1 時間
各病院状況報告 指定 5 病院
情報交換
 - 3 月 2019 年度活動方針
各病院状況報告 指定 5 病院
情報交換

2. その他

- ①平成 31 年 10 月の消費税率 10%への切り上げが予測される状況で、事務責任者としての情報収集・共有の場とする。
- ②テーマを募り事前アンケートに基づく意見交換を実施する。
- ③メール機能最大限活用し、各種案内・周知・通知等の情報発信を進める。

以上

平成 30 年度相模原市病院協会看護部長会
事業計画
メインテーマ 「看護の質向上をめざして」
～ 地域につながる看護力を育てる ～

1. 研修会

日時	事業内容	場所
第1回 4月20日(金) 14:30～16:00	研修会 テーマ: シンポジウム 「少子高齢化社会を迎えて、看護介護職員の人員不足をどう補うか!」 ～今、管理者が変わる。外国人スタッフと共につくる看護チーム～ 座長 黒河内病院 看護部長 中野 直美氏 シンポジスト 相模ヶ丘病院 看護部長 小林 一裕氏 ふじの温泉病院 看護部長 不動田 あけみ氏	会場: 小田急センチュリー ホテル相模大野
第2回 7月頃	研修会 テーマ:「企画検討中」(中堅看護師向け)	会場: 南メディカルセンター (予定)
第3回 10月頃	研修会 テーマ:「フィジカルアセスメント」(新人向け) 講師:北里大学病院 集中ケア認定看護師	会場: 北里大学病院 (予定)
第4回 12月頃	研修会 テーマ:「企画検討中」(看護管理者向け)	会場: ウェルネス相模原 (予定)

2. 看護職復職支援事業 主催:相模原市病院協会 共催:相模原市

日時	事業内容	備考
第1回 6月17日(日)	第1回「看護職就職相談会」	会場:中央区ウェルネス相模原(予定)
第2回 10月28日(日)	「復職支援のための技術研修」	会場:相模原看護専門学校(予定)
第3回 2月3日(日)	第2回「看護職就職相談会」	会場:中央区ウェルネス相模原(予定)